

キノコの細胞壁を構成するβ-グルカンの抗がん作用など

代表例として、シイタケから抽出・精製されたレンチナン（Lentinan）の作用を採り上げる

<1> 抗腫瘍（抗がん）作用、および免疫増強作用

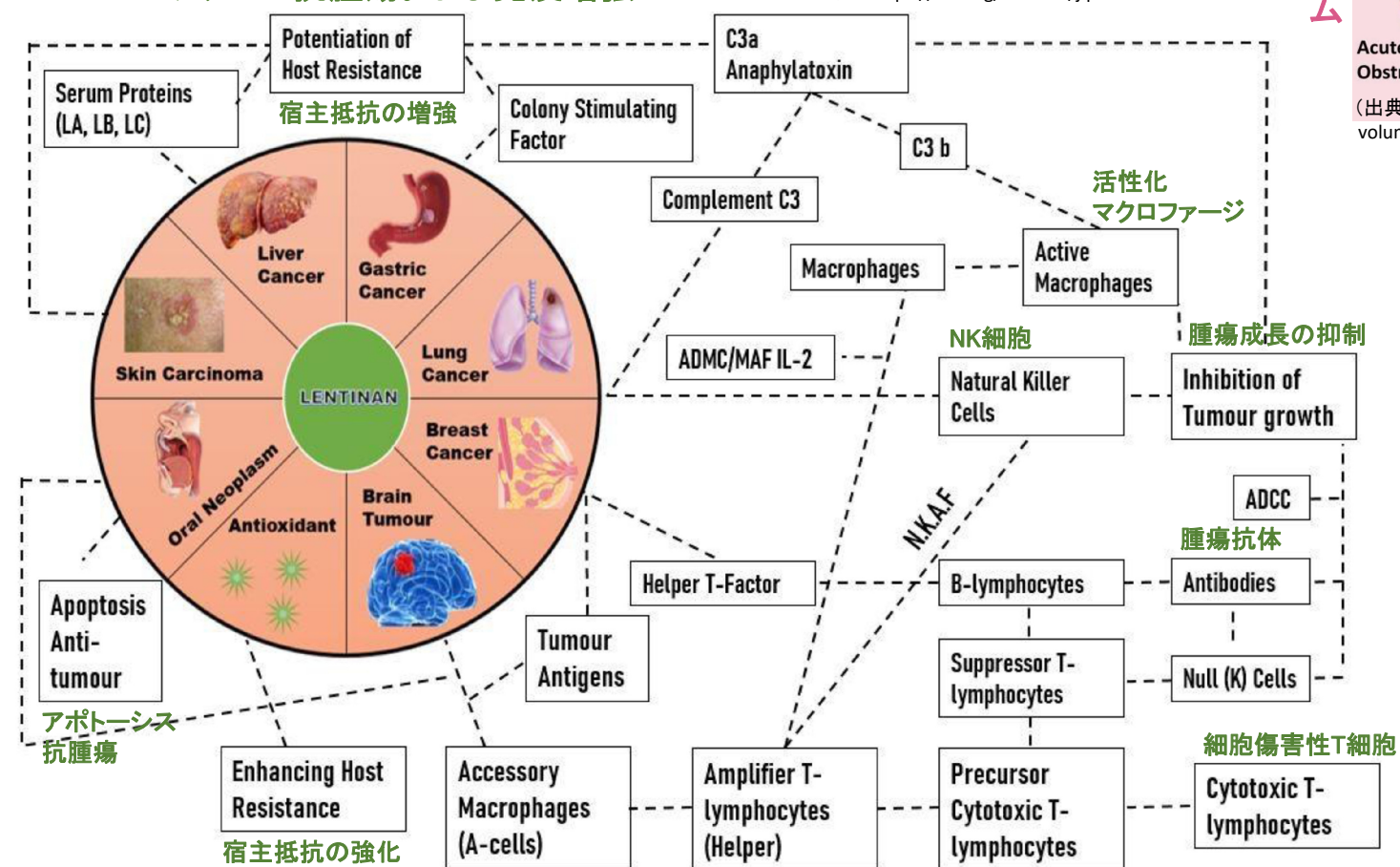
各種のがんに対して、主として細胞傷害性と免疫増強によって、抗がん作用を発揮する。

<2> 抗炎症作用（炎症に関わるシグナル伝達経路に作用する）

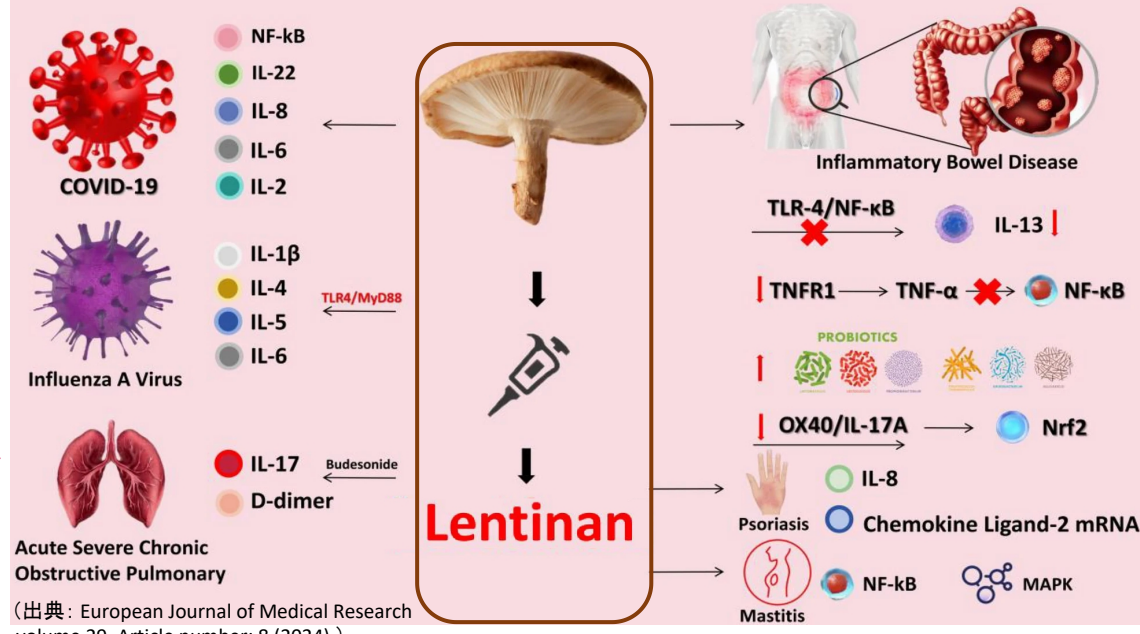
新型コロナやインフルエンザにおけるサイトカインストームを阻止、急性重症慢性閉塞性肺疾患・炎症性腸疾患・乾癬・乳腺炎などにおける炎症を抑制する。

<3> 抗糖尿病作用 右下図に示されている多様な機序にて抗糖尿病作用を示す。

レンチナンの抗腫瘍および免疫増強メカニズム (出典: <https://doi.org/10.1016/j.prmcm.2022.100045>)

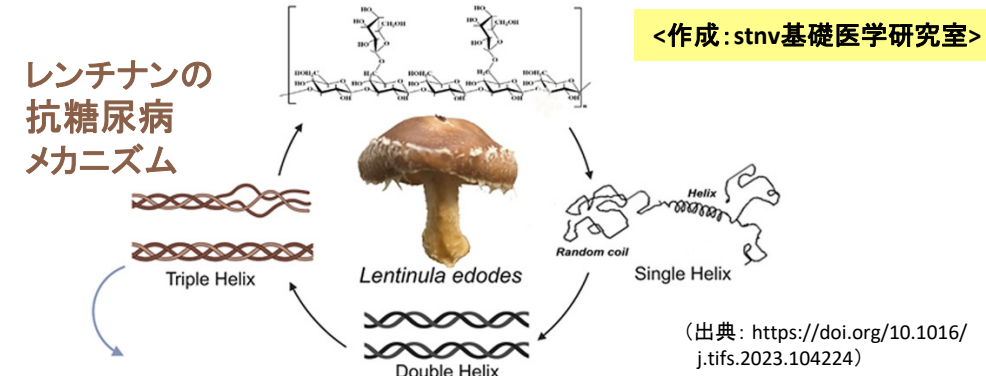


レンチナンの抗炎症メカニズム



(出典: European Journal of Medical Research volume 29, Article number: 8 (2024))

レンチナンの抗糖尿病メカニズム



<作成: stnv基礎医学研究室>

